

「涙」をこえた先の強い「絆」

福島県いわき市立三和中学校

三年 青木 真衣

私は、部活動でたくさんのことを学んだ。苦しい時、いつも仲間と励まし合って歩んできた。

「県大会で三勝、東北大会出場」という目標に向かって新人戦から半年間、厳しい練習を積んできた。新人戦、私たちは初戦敗退で東北大会出場という目標を叶えることが出来なかった。初戦敗退のチームが半年後、県大会で三位になることは難しい。その現実、チーム一人一人が分かっていた。でも、私たちは悔しい気持ちから、諦めるということが出来なかった。私たちは挑戦し続けた。

私は、バドミントン部に所属していた。一年生の頃から、チームの目標は東北大会出場だった。私も自然と東北大会出場が目標となっていた。でも、東北大会の出場権は得ることが出来ずにいた。そして、いよいよ私たちが最上級生になり、私は主将を務めることになった。

新チームになってから初めての県大会。私たちは第四シードに入った。初戦から苦しい展開となった。一対二で第二ダブルスに回ってきた。私は、絶対に勝たなくてはいけないというプレッシャーから体が動かなくなった。後ろからは必死に応援してくれている仲間の声が聞こえてきた。より強く、勝ちたいという気持ちが込み上げてきた。でも、ストレート

で負けてしまった。そして、一勝も出来ずに私たちの県大会が幕を閉じてしまった。負けてしまったのは自分が原因。そう思うと、とても悔しく、私はバドミントンの楽しさを忘れかけた。すぐラケットを持ってプレーしたいとは思えなかった。ただ、仲間にも申し訳ない気持ちでいっぱいだった。でも私は、チームの目標がないと、半年後までモチベーションを保てないと思った。そして皆に

「チームの目標を皆で決めない?。」

という提案をした。もちろん、最終目標には「東北大会出場」という目標が立てられた。その目標を達成するための努力項目も五つ立てた。その中の一つである「礼儀正しく、感謝の気持ちを持ち、皆から愛され、応援してもらえるチームをつくる」という項目に力を入れた。挨拶、靴を揃える、爪先を揃えるなどの基本的なところを、もう一度、徹底できるようにしていった。細かいところから、しっかりと一つ一つを改善していくことで、少しずつ緊張感が高まっていった。そして、部活内だけでなく、学校生活の中でも実践できるようになっていった。

苦しい練習の中で、私を励ましてくれる言葉があった。それは、私が記していたバドミントンファイルの下に先生が与えてくださった言葉だった。「今日だけ、今日だけ頑張るんだ。今日を頑張った者にのみ、明日が来るんだよ」と「努力は必ず報われる。もし、報われない努力があるのなら、それはまだ努力とは呼べない」という二つの言葉が私に力をくれた。そして、毎日、書き続けたバドミントンファイルが、私を勇気づけ、励ましてくれた。そして、半年が足早に過ぎていった。

苦しい半年を乗り越えて迎えた県大会。新人戦と同じ第四シードに入った。同じ第四シードで戦えることが嬉しかった。私たちは、リベンジしたいという気持ちが強まっていった。初戦から厳しい試合に

なった。でも、私たちは二―一で勝つことが出来た。この一勝が弾みとなり、私たちはベスト四まで進んだ。準決勝で敗れ、代表決定戦に回った。相手は、新人戦で敗れた相手だった。チームの雰囲気がとても良く、勝つという気持ちが溢れていた。まず、私たちの良さである声で圧倒した。そこからチームがより団結した。私は第一ダブルスで出場した。ゲーム目はうまく自分たちの良さを発揮できず、二十一―十五で落としてしまった。でも、前日に笑顔でプレーすることを約束していたことを思い出し、前向きにコートに入った。二ゲーム目も十一―七で先制されて折り返すも、逆転で勝つことができた。ファイナルゲームでも、いい流れにのり、勝利。私たちがこの試合を取ると、二―〇で代表が決定した。私は、皆への感謝の気持ちでいっぱいだった。難しいと思われる目標でも、諦めなければ必ず達成できる。諦めないで挑戦していくことの大切さを改めて学んだ。県大会だった。私たちは、遠い目標だった銅メダルを首にかけることが出来た。銅メダルはとても重く、嬉しい気持ちがこみ上げてきた。そして、私の宝物となった。

私は、部活動を通して、たくさんのことを学んだ。先生が与えてくださった「努力は必ず報われる」という言葉を証明することが出来た。努力したら、自分だけ自分に返ってくるものがある。苦しい時も自分に負けないでやり続ける。うまくいかない時や思い描く結果が出ない時は、また努力が足りない。これは、これからも私の心の中に刻んでおきたいと思う。そして、私を支えてくれたチームの皆に感謝したい。「努力」することの楽しさ、苦しさを教えてくれた二年半の月日が、これから辛い時、私を励ましてくれるだろう。

作文を書くに当たって

「努力」することの大切さ。私が一番伝えたいことです。高い志を持つほど、途中で失敗することも多くなります。でも、私たちは失敗から学び、それを原動力にする力を持っています。失敗したら、また1歩踏み出せばよいと思います。自分の限界に挑戦していくこと。それが新たな自分と出会えるきっかけになるかもしれません。